

## 2. 強度性能

### (1) 曲げ耐力

(試験機関:旭化成)

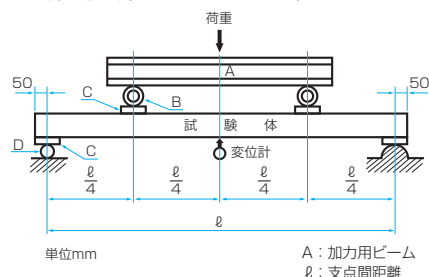
試験体寸法	平均初亀裂荷重	JIS規格値 (JIS A 5416)
50×600×1,000 (mm)	2,470N	780N以上

- JIS A 5416におけるパネル曲げ試験(四等分点2線載荷)において、曲げひび割れ荷重(初亀裂荷重)は、JIS規格値と比較して3倍以上の安全率を有することが確認されています。

### (2) 短期許容荷重(鉄骨造の場合)

- ヘーベルライトは多点支持による取り付け工法を標準としているため、許容荷重は下地胴縁の間隔により決定されます。

### ● 試験方法(JIS A 5416より)



加力は、試験機の荷重が最大値を示すまで行い、スパン中央のたわみ測定結果を用いて、荷重-たわみ曲線を作成し最初の変曲点に対応する荷重を求める。

(計算値)

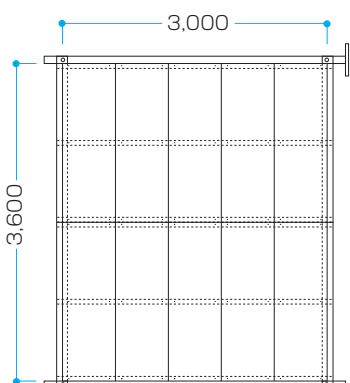
支持間隔	l=900mm	l=600mm	l=450mm
正 圧	1,448N/m <sup>2</sup>	3,259N/m <sup>2</sup>	5,794N/m <sup>2</sup>
負 圧	1,448N/m <sup>2</sup>	2,474N/m <sup>2</sup>	3,175N/m <sup>2</sup>

## 3. 耐震性能(面内変形性能試験)

- 試験場所:(財)建材試験センター・中央試験場
- 試験日:平成6年2月18日
- 試験方法:大型面内せん断試験装置による静的面内せん断試験

(層間変形角は、安全率を十分確保することを考慮し、建築基準法に規定されている各階の層間変形角1/200radおよび、構造耐力上主要な部分の変形によって非構造部材に著しい損傷が生ずるおそれがない場合の1/120radに対し、規定の2倍にあたる1/100radおよび、1/60radの変形角を加える。)

### ● 試験結果

試験体	試験の順序		破損状況
	段階(回目)	層間変形角R (rad)	
(1) ALC薄形パネル:1,800×600×50mm (2) 胴縁: C-100×50×20×2.3mm (3) シーリング: アクリル系シーリング 	1	$\frac{1}{400}$	損傷なし
	2	$\frac{1}{300}$	損傷なし
	3	$\frac{1}{200}$	損傷なし
	4	$\frac{1}{150}$	パネル角部にひび割れ発生
	5	$\frac{1}{120}$	上記以外損傷なし
	6	$\frac{1}{100}$	上記以外損傷なし
	7	$\frac{1}{75}$	上記以外損傷なし
	8	$\frac{1}{60}$	上記以外損傷なし

